

第5学年 国語科学習指導案

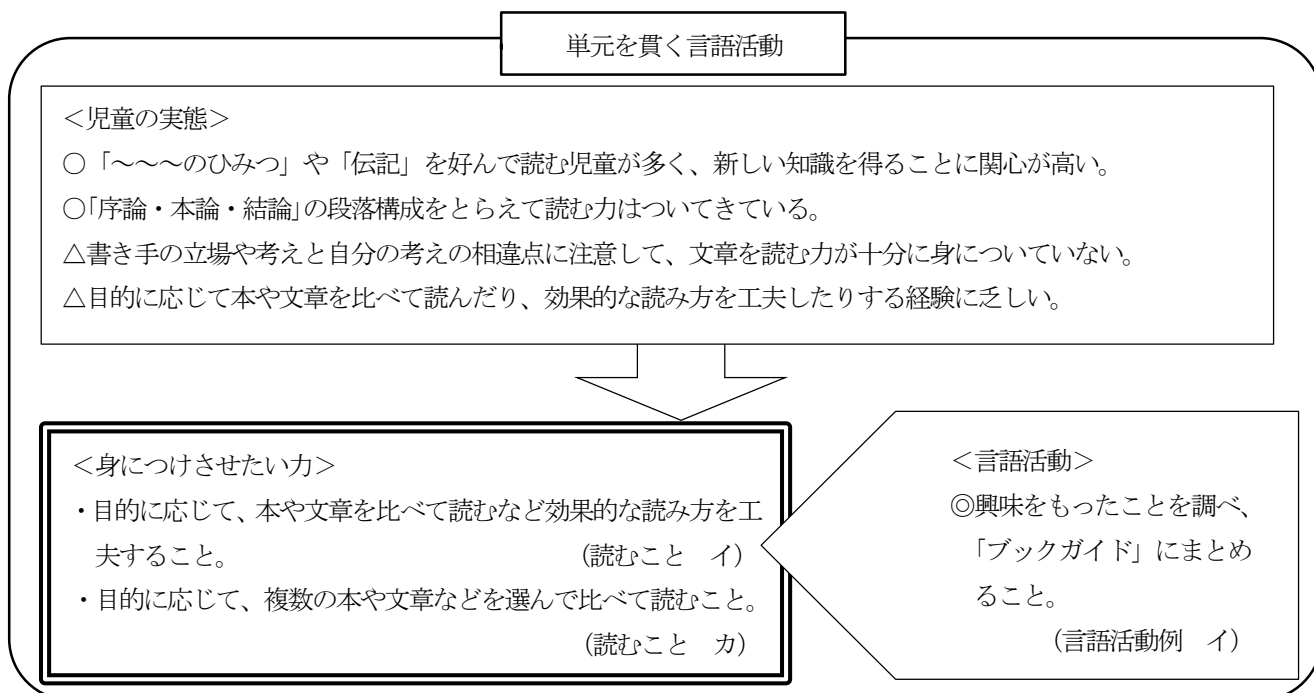
日時 平成26年11月7日（金）14:15～15:00

児童 9名

授業者 松橋 詞子

1. 単元名 森林について興味をもったことを調べ、ブックガイドにまとめよう
 中心教材 「森林のおくりもの」（東京書籍 5年下）
 補助教材 森は生きている（講談社）、森は生命の源（ゆまに書房）、森が泣いている（ゆまに書房）、
 良い木を育てる（農文協）、森のおいたち（農文協）他

2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想

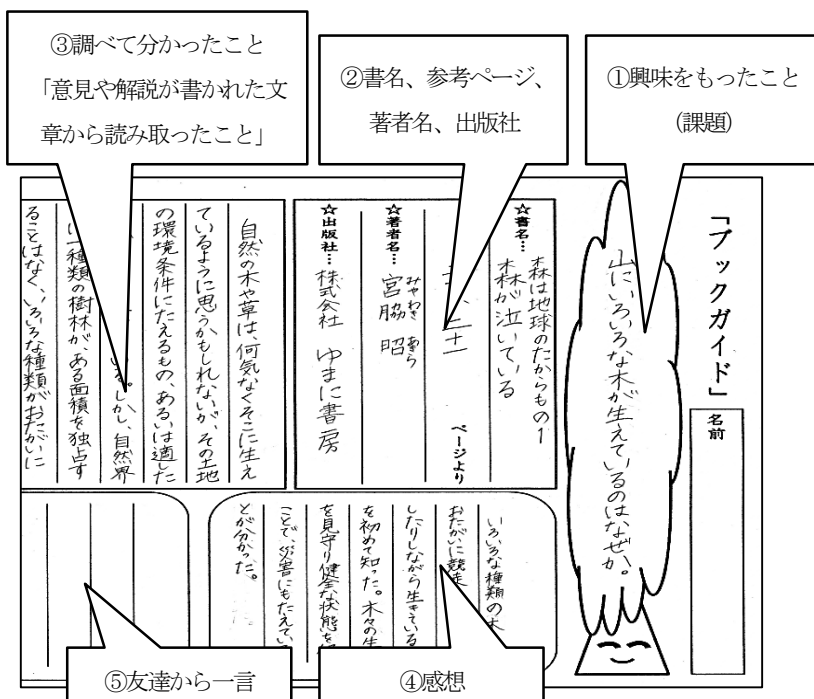


3. 単元について

(1) 言語活動の特徴

本単元を貫く言語活動として、「C 読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」を具体化し、興味をもったことについて調べ、「ブックガイド」にまとめることとした。

この言語活動は、複数の本や文章を比べて読むことで、知識を豊かにしたり、読書の範囲を広げたりすることができる。また、目的に応じて速読や摘読、多読など効果的な読み方を工夫していくこともできる活動である。従って、本単元のねらいを実現するのにふさわしい言語活動であると考える。



(2) 指導にあたって

本単元は、森林をテーマとした教材文を読み進める過程で生まれた興味をもとに、自分でさらに調べてみたいと思うこと(自分の課題)を見だし、その課題を解決するために、本や文章などを選んで比べて読んだり、効果的な読み方を工夫したりする力をつけることをねらいとする。

第一次では、教材文の題名から学習内容を予測したり、「森林」という言葉から連想することを出しあったりして、学習への興味や関心が高まるようにする。また、指導者作成のブックガイドを読み、学習のゴールを確認することで、学習の見通しがもてるようにする。

第二次では、自分でさらに調べてみたいことを見いだすために教材文を読んでいく。その際、筆者の考えや主張をとらえたり、木材利用の具体例や森林の働きについて速読や摘読をしたりして、森林についての知識を広げていく。そして、さらに詳しく知りたいと興味をもったことを交流し、第三次の学習へつなげるようにする。

第三次では、ブックガイドにまとめる活動を行う。複数の本や文章を読んだり、速読や摘読など効果的な読み方を選択したりしながら読ませることで、本単元のねらいに迫りたいと考える。学習の最後には、完成したブックガイドを読み合い、森林についての考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、新たな知識を得ることの楽しさや喜びを味わわせるようにしていきたい。

4. 単元の目標と評価規準

○興味をもったことを調べるために、複数の本や文章を読み、情報を多面的に収集しようとする。〔関心・意欲・態度〕

◎速読、摘読、多読などの多様な読み方の中から、効果的な読み方を選択して読み、必要な情報を選ぶことができる。

〔読むこと イ〕

◎ブックガイドにまとめるために、複数の本や文章などを比べて読むことができる。

〔読むこと カ〕

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、必要な情報を選択することができる。

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)〕

(評価規準)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・興味をもったことを調べるために、複数の本や文章を読み、情報を多面的に収集しようとしている。	・多様な読み方の中から、効果的な読み方を選択し、必要な情報を選んでいる。(イ) ・興味をもったことを調べるために、複数の本や文章を比べて読んでいる。(カ)	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、必要な情報を選択している。 (イ(キ))

5. 単元の指導計画 (9 時間)

次	時	主な学習活動	言語活動に関する留意点	評価規準 (評価方法)
第一	1	・森林について関心を持ち、学習の見通しをもつ。 ・学習計画を立てる。	・「森林のおくりもの」という題名から内容を予測したり、「森林」という言葉から連想することを出しあったりして、学習への興味や関心が高まるようにする。 ・指導者作成のブックガイドを提示し、学習の見通しをもたせる。 ・教科書 P50 の「言葉の力」を読み、調べるときの本の読み方を確認する。 ・学習計画を確認する。	〔関〕 森林について興味や関心を持ち、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 (観察、発言)

第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「森林のおくりもの」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p 47 の文章構成図を参考に、「序論」「本論 1」「本論 2」「結論」の文章構成をとらえさせる。 「序論」を読み、日本人と木の暮らしについて考えさせる。 「結論」を読み、筆者の考えや主張をとらえさせる。 	<p>[読] 自分の調べたいことを決めるために、効果的な読み方を選択し、必要な情報を選んでいる。</p> <p>(ワークシート、カード)</p>
	3		<ul style="list-style-type: none"> 木材の利用について知識を広げたり深めたりするために、「本論 1」を読む。 木材が利用されている場面の具体例や木の特徴を確認する。 興味をもったことをカードに書いて交流させる。 	<p>[言] 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>
	4		<ul style="list-style-type: none"> 森林の働きについて知識を広げたり深めたりするために、「本論 2」を読む。 森林の仕組みを確認する。 興味をもったことをカードに書いて交流させる。 	
	5 (本時)			
第三次	6	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことを決定し、情報収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次で交流してきたカードを整理し、共通点や自分が目を向けていなかった点を考えさせる。 自分が調べることを決定させる。 教科書 p 50 の「言葉の力」を再確認する。 	<p>[関] 興味をもったことを調べるために、複数の本や文章を読み、情報を多面的に収集しようとしている。</p> <p>(観察、発言)</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を選び、ブックガイドにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者作成のブックガイドを参考に書かせる。 効果的な読み方を選択して読ませる。 興味をもったことに対して調べて分かったことが話題からそれていないか、分かりやすく書かれているか、読み直すようにさせる。 誤字や脱字にも気を配るようにさせる。 	<p>[読] ブックガイドにまとめるために、多様な読み方の中から、効果的な読み方を選択し、必要な情報を選んでいる。</p> <p>(ブックカード、ブックガイド)</p>
	8			<p>[読] 興味をもったことを調べるために、複数の本や文章を比べて読んでいる。</p> <p>(ブックカード、ブックガイド)</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> ブックガイドを読み合い、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックガイドを読み合い、感想を伝え合う。 ブックガイドにまとめる学習を振り返り、情報収集と情報活用の仕方を、今後の学習に生かせるようにする。 	

6. 本時の学習 (5時間/9時間)

(1)目標

森林の働きについて読み取り、自分が調べてみたいと思うことを見いだすことができる。

(2)展開

段階	学習内容	指導上の留意点 [評価]
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を確認する。 手立て2 (①単元を通して ②本時) ①単元における本時の位置づけを確かめ、学習課題を把握する。 ②森林の働きについて知ることで、自分がさらに詳しく調べてみたいと思ったことをカードに書くことを確認する。
	森林の働きを確かめ、自分がさらに調べてみたいと思ったことを書こう。	
展開 30分	2 森林の働きについて読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人で読む。 ・グループで読む。 ・全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別のおくりものとして述べられている森林の働きについて、3つのことが挙げられていることを確認する。 ・3つの中から興味をもった森林の働きを選び、どのような仕組みになっているか読み取らせる。(摘読) [読] 仕組みについて述べられている文にサイドラインを引き、ワークシートにまとめることができる。(イ) ・仕組みについて、必要な情報を選ぶことができているかを確認させる。 手立て3 ・全体で3つの森林の働きについて確認する。 ・指導者の助言を加え、必要に応じて文章を推敲させる。 [読] 仕組みについてワークシートにまとめることができる。(イ)
	3 自分がさらに調べてみたいと思ったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にして、さらに詳しく調べてみたいと思ったことをカードに書かせる。 ・調べてみたいことを見いだすことができない児童には、「不思議だなあ」「なぜだろう」等と思ったことを聞き、知りたいことが具体的にイメージできるように声かけをする。
	4 全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いた内容を発表させる。
終末 10分	5 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①森林の働きが分かったか(分かる) ②自分が調べたいことを見つけたことができたか(できる)の2点を自己評価させる。 手立て4
	6 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、自分の課題を決定することを伝える。

7. 板書計画

土と養分をおぎなう
働き

水田に引く水の中に、土が含まれている。森林の草や落ち葉が肥料に使われてきた。何年かに一度はこう水がやってきて、たくさん土を田につき足していったから。

どうして、毎年毎年同じようにお米を作り続けることができたのでしょうか。

山くずれや水害から平野を守る
働き

森林の木がしっかりと土をかかえて、しゃ面にはりつけている。土の下にある岩石も、木の根がだきかかえてくれているから。

森林の土は、なぜ雨に流されてなくなってしまうかわからないのでしょうか。

水を保つ
働き

森林は、ふところ深く雨を受け入れると、少しずつ地下へ送りこみ、やがて下流へはき出してくれる。ゆつくりと地下をくぐってきたわき水は、集まって谷川になり、小さな川になり、やがて大きな流れになって、平野をうるおしてくれるから。

川の水がなぜなくならないのか。

森林の働きを確かめ、自分がさらに調べてみたいと思ったことを書いて。

森林のおくりもの

